



## 校長室から

甘利 尚之

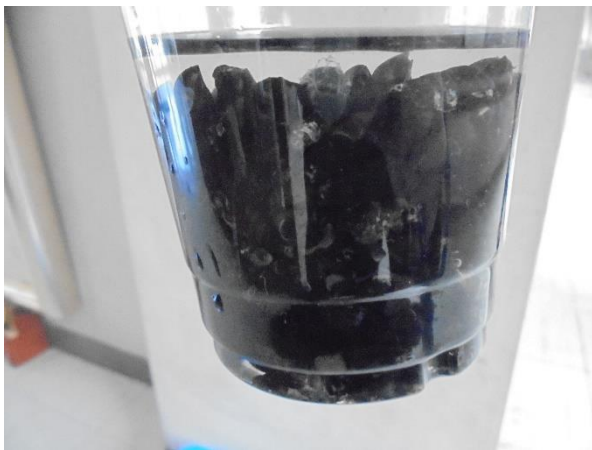
令和5年1月12日(木) No.25

### 「カワニナ」に感謝



12月26日(月)、桜つつみホテル会の宮下会長様が、学校に「カワニナ」をたくさん持ってきてくれました。

「カワニナ」は、カワニナ科に分類される淡水性の細長い巻貝の一種です。東アジアに分布し、ゲンジボタルやヘイケボタルといったホタルの水生幼虫の餌としても知られているところです。まさに、先日預けていただいたホタルの幼虫のエサに、ということで写真のように、学年ごと、コップに分けて持ってきてくれました。



カワニナは、川や用水路、湖や沼などの底に生息するようですが、ホタルの幼虫と同じで、都市部の河川など汚染の進んだ水域では見られないとのこと。落ち葉などが積もるような流れが緩い区域に多く、流れが速い溪流等には少ないのだそうです。主に落ち葉や藻などをエサとして生きているそうです。

学校の水槽では、キャベツの葉っぱなどをエサとして与えています。

持ってきてくださった宮下さんに、どこでとったものか聞くと、秋和鉦泉近くの用水路や、下塩尻とのことでした。特に意図はなかったのですが、場所を教えてくれた後、「用水路、ちょっと深いから、なくなったらまた言ってくればいから。」と続けてくれました。いつ頃とったものかは正確にはわかりませんが、本当に有り難いことだと思いました。いただいたカワニナは、それぞれの担任が、水槽の方へ入れましたが、「どうしてカワニナがこんなにたくさんあるのか」ということについては、担任の口から伝えてもらうようにしました。